

事業番号	10 02 01	事業改善シート(30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課
			実施期間	S33 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性、家計可処分所得、就業率					
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			
	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○県内の森林・林業を支える教育・試験研究機関は少なく、充実を図る必要がある。 ○また、森林・林業を普及・啓発し、持続的な森林育成や発展を目指す必要がある。	30年度 決算額	85,709 千円
		職員数	92.41 人
目指す姿	○森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのため、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す。 ○林業大学卒業生における、林業・木材産業関係分野への就業者の継続的な確保(H28:89%) ○林業総合センターの試験・研究の促進(H29予算:31課題⇒H30予算:32課題) (主な実施内容:林業大学や林業総合センターによる知識の教示や試験研究、普及指導員等による地域の森林林業事業体等の指導 など)		

事業 コスト	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況								
	29年度	30年度	令和元年度		No	成果指標	29年度	30年度					
前年度繰越	318,893	0		目標値				成果	達成状況				
予算額	当初予算	107,650	117,474	118,307	①	林業大学卒業生で就業した者の林業・木材産業関係分野への就業率	85%	80%	78%	未達成			
	補正予算	-23,486	-29,569					80件	124件	達成			
	合計(A)	403,057	87,905	118,307				③	体験学習の森の講座定員の充足率	85%	85%	92%	達成
	一般財源	64,913	64,143	67,332									
Aの財源	県債	158,000	0	0									
	国庫支出金	168,441	16,394	37,080									
	その他	11,703	7,368	13,895									
	決算額(B)	398,578	85,709										
概算人件費	職員数(人)	92.41	92.41	89.41									
	概算人件費(C)	748,706	759,425	734,771									
	概算事業費(B(A)+C)	1,147,284	845,134	853,078									
備考					成果指標 設定理由	①林業大学の学生が県内の森林・林業の担い手として、その知識・技術を林業及び木材産業分野で活かせるよう成果指標に設定 ②林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすため成果指標に設定 ③県民参加の森林林業講座の中身の充実を図るため成果指標に設定							

目標に対する成果の状況	①林業大学の卒業生における林業・木材産業関係分野への就業率については、これまで学習した森林・林業分野の知識・技術を活かした他分野への就業希望者が例年より多かったことから、目標80%を下回る77.8%となり未達成。 ②林業総合センター研究成果発表については、積極的な発表実施により、目標80件を大幅に超える124件を達成。 ③体験学習の森の講座定員の充足率については、目標85%を超える91.9%を達成。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	・林業総合センターにおける、森林資源の充実に伴う森林の更新技術開発や大径材の試験・製品開発等の不足。 ・林業大学校について、外部有識者による検討の結果を報告書として整理、H30.12に公表。	・林業総合センターにおける、森林の更新技術や大径材の試験・製品開発、人材育成等の推進。 ・林業大学校の今後の方向性について、庁内検討会議を経て県としての考え方を整理

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1	-	林業大学校費	H30入学生20人を含む40人の林業に係る専門的な知識・技術修得を支援し、20人の卒業生の就業・進学をサポートした。	6.91	32,571	32,175	38,739
2	-	長野県林業大学校グレードアップ推進事業費	より魅力的な林業専門教育機関とするため今後の全体計画を検討し、外部有識者による検討結果を報告書として整理した。	3.50	1,028	1,028	1,026
3	-	林業改良普及事業	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、研修会を4回開催したほか、国が実施する研修等へ参加した。	58.00	3,281	2,766	4,042
4	-	林業総合センター管理費	林業総合センター施設の管理運営業務。	4.00	26,639	25,354	29,122
5	-	林業総合センター試験研究普及費	森林・林業に係る課題解決のために、技術開発及び試験研究を行った。	17.00	52,001	22,432	43,424
6	-	林業総合センター体験学習の森事業	森林・林業に関する県民への普及啓発のため、体験学習の森の施設管理運営し、年間36回の公開講座を開催した。	3.00	1,954	1,954	1,954
合計				92.41	117,474	85,709	118,307

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業				部局	林務部	課・室	信州の木活用課			
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度				
							当初(千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)	
1	林業大学校費	施設管理・運営	直接	林業の担い手確保のため、学生40人に対して林業の専門的知識・技術を体系的に修得させる。	平成30年度入学生20人を含む40人の林業に係る専門的知識・技術修得を支援し、20人の卒業生の就業・進学をサポートした。	計画通り○	36,352	32,571	32,571	0	32,175	
2	長野県林業大学校グレードアップ推進事業費	検討会開催	直接	長野県林業大学校をより魅力的な林業専門教育機関とするための今後の全体計画検討・策定	今後の全体計画を検討し、外部有識者による検討結果を報告書として整理した。	計画未達△	-	1,028	1,028	0	1,028	
3	林業改良普及事業	森林・林業に係る知識と技術の普及啓発	直接	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、研修会等を開催する。	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、研修会を4回開催したほか、国が実施する研修等へ参加した。	計画通り○	3,281	3,281	3,281		2,766	
4	林業総合センター管理費	施設整備・管理運営	直接	林業総合センター施設の管理運営	林業総合センター施設の管理運営	計画通り○	25,932	26,896	26,639		25,354	
5	林業総合センター試験研究普及費	森林・林業に係る各種試験研究の推進	直接	森林・林業に係る課題解決のために、技術開発及び試験研究を行う。(課題数：森林整備関連14、特用林産関連10→8、県産材関連8→7)	森林・林業に係る課題解決のために、技術開発及び試験研究を行った。(課題数：森林整備関連14、特用林産関連8、県産材関連7)	計画通り○	38,531	52,001	52,001	-29,569	22,432	
6	林業総合センター体験学習の森事業費	各種講座の開催及び施設の管理運営	直接	・年間36回の県民向け森林林業講座の開催を予定 ・体験学習の森の施設管理運営	・年間36回の県民向け森林林業講座の開催を行った。 ・体験学習の森の施設管理運営	計画通り○	3,554	1,954	1,954		1,954	
合 計								107,650	117,731	117,474	-29,569	85,709